

解剖学入門（天野カオリ）

Introduction to Anatomy (Kaori Amano)

キーワード

- ① 肉眼形態学
- ② 人体構造と機能
- ③ 個体差/正常解剖
- ④ 献体制度の社会的意義
- ⑤ ヒトを対象とする医学研究の指針

関連する学位授与方針

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

関連する教育実施方針

- ①
- ②
- ④
- ⑤
- ⑥

授業概要

解剖学は人類最古の学問であるとともに全医療従事者が履修する最重要共通基礎科目の1つである。外科学/インプラントや麻酔学、放射線学、その他あらゆる臨床領域のベースとして解剖学の知識習得は必須である。また様々な疾病や病的環境において医療従事者として対応していく上で学ぶべき人体の構造と機能について、系統解剖学講義と人体解剖実習（正常解剖）に日々携わる中で人体には必ずバリエーション(個体差)があることの重要性について学ぶ。

授業科目の学修目標

解剖学は全ての医療従事者が履修する重要共通基礎科目であるだけでなく、人体の解剖に携わる上で人としての倫理感を保つこと、すなわち全てのご献体者様とご遺族様への敬意と感謝の気持ちを日々忘れず必要知識の習得と研究に邁進する事を目標とする。またご献体者様とご遺族様との関わりの中で医療従事者として守秘義務の重要性を理解することを必須とする。

授業計画

- ① 人体の形態構造について教授する。
 - ・解剖学総論と献体制度 1コマ 天野カオリ
 - ・全身の形態構造について教授する。22コマ 天野カオリ
 - ・歯の形態構造について教授する。2コマ 志賀華絵
- ② ヒトを対象とした医学研究の指針に基づき倫理規範を教授する。2コマ 天野カオリ
- ③ 形態学研究を基盤とした新たな研究課題の発想に導く知識を教授する。3コマ 天野カオリ

教科書および参考書

分担解剖学 I, 2, 3, 続巻(金原出版), 解剖学講義第二版(伊藤隆著 南山堂), 解剖学カラーアトラス(医学書院)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

解剖学に関する大学・歯学部卒業レベルの予備知識が要求される。また、国内外の原著論文や総説論文を熟読すること、その内容を理解する能力が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 解剖学講座の大学院生として全身解剖学の知識を講義と講義資料から習得し説明できる。
- ② ヒトを対象とした医学研究の指針(厚生省)に基づき倫理規範を理解し実践できる。
- ③ 肉眼形態学の視点を理解した上で、形態学研究を基盤とした新たな研究課題の発想力を身につける。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	0%	60%	0%	40%	0%

評価の要点

- ・口頭試問は項目ごとの講義が終了後に毎回行い知識の理解度を判定する。10%×4回
- ・成果発表は、自身の研究課題内容に関連する論文を選択・熟読し、論文内容を要約し研究の意義について定期的に発表する。20%×3回=60%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。特に、献体制度に関する倫理的事項について100%の理解を求める。